



財団法人柳田國男・松岡家  
顕彰会記念館  
〒679-2204  
神崎郡福崎町西田原 1038  
の12  
電話：0790-22-1000

# 新年あけまして

## おめでとーございませす



旧年中は当記念館に対し、ご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

本年も皆様に愛される記念館を目指し、催し等を企画・運営をしてまいりる所存です。

どうか昨年同様、皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

そして、本年も皆様にとつて素晴らしい一年でありますように、心からお祈り申し上げます。



### 松岡映丘画稿展

松岡映丘画稿展『子ども編』、『社寺祭祀編』に続く第三弾として三月に『動物編』を実施します。詳細は次号で。

### 福崎の方言

今年福崎の方言をシリーズでお届けします。福崎で使われている言葉に「オクモジ」があります。これは茎の漬物という意味で「くき」の頭の「く」に「もじ(文字)」をつけて丁寧にした女房詞です。

女房詞とは、室町時代初期に宮中に仕える女官たちの間で上品な言葉遣いとして用いられ、言葉の前に「お」をつけたり、最後に「もじ」つけて呼びます。

例えば、「しゃもじ」は最も普及している女房言葉ではないでしょうか。「杓子」の頭の「しゃ」に「もじ」をくつつけた言葉です。言わずと知れた、ご飯をよそう道具です。



さて、くもじは野沢菜漬けや酢茎漬けなどが該当しますね。お節料理の後には日本食を代表する食物、漬物で食物繊維を摂りましょう。

### 絵馬販売中

入試シーズン到来

生家の隣は、鈴の森神社。学問と安産の神様です。

柳田國男やその兄弟が大成したのもこの神様の御利益があったのかも知れません。



(500円)

記念館では絵馬を販売しています。最後は神様をお願いしては。

### くによはん覚書

#### ○寝太郎三助



むかしある所に寝太郎三助とって朝から晩まで寝てばかりいる男があらりました。ある朝何を考えたのか、まだ暗いうちから起きて山へ行きまして、晩方になって一羽の

飛ばせてやりました。源左衛門はこれはきつと出雲の神様



した。そして部屋の中へとじこもって一人で何かしていましたが、あくる日の夕方になって外へ出かけて行きました。その村の庄屋は源左衛門といひ、おみよさんという美しい娘さんがいました。

三助はその庄屋の家の樫の木に登って、源左衛門が外から帰って来るのを待っていました。あたりが暗くなったころ、源左衛門は帰って来ました。

そしてちょうどその樫の木の下へ来たとき、三助は上から声をかけて、これこれ源左衛門、寝太郎三助をおまえの家

の壁にしないと、三日のうちこの家を焼き払うぞといつて

持って来た雉の尾に提灯をつけて西の方を向けて



一生涯安楽に寝て暮らしましたとき。(出典 柳田國男・日記 本書話集)

### 会員募集中!

財団法人柳田國男・松岡家顕彰会は、一昨年、会員制度を発足させました。入会者には会員証をお渡ししています。

法人会費 一〇〇〇〇円

個人会費 一〇〇〇円

#### 特典

記念館無料入館



個人(本人+家族一名) 法人(一口・四名まで) もちむぎのやかた レストラン1割引他